

国際化に対応した地域における消費単価向上支援事業（27年度補正予算：1.0億円）

事業の内容

事業目的・概要

- GDP600兆円の強い経済を実現するためには、急増する訪日外国人の消費を地域経済活性化（ローカル・アベノミクス）に結びつけ、来訪者1人当たりの消費額（消費単価）を向上させることが不可欠です。
- 地域における消費単価を向上させるためには、消費機会の増大と消費単価の高い富裕層の取り込みが効果的です。
- このためには、海外の先進的な都市・リゾートのように富裕層等が好む商業・サービス業が複合的に集積した街並みを創出することが重要です。
- そこで、本事業では、地域への来訪と消費が期待される外国人旅行客の属性を特定し、彼らが求める新たなサービスの検討・試行や、彼らの消費マインドを活性化する統一感のある街並み（サービス・スケープ）の創出によって、地域の商業・サービス集積を高度化する取組を支援します。

成果目標

- 事業終了3年後までに外国人旅行客の消費単価等が増加した事業の割合を70%にする。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



※プロデュース機関：マーケティングやまちづくり等に関するノウハウ・支援実績を有し、かつ当該地域において活動実績がある民間企業・団体

事業イメージ

事業主体



（プロデュース機関）

地域の関係者（自治体、商工会議所、商店街、観光協会、商工事業者、地域住民等）と連携

事業内容

地域とプロデュース機関が、地域の関係者と連携して行う次の取組を支援。
※①、②、④は定額補助。③は2／3補助。

海外先進事例を参考に

- 新サービス、街並み整備の検討（検討会開催等を補助）
- ターゲットの明確化（検討会開催等を補助）
- 新サービスの創出（新事業の試行を補助）
- 街並み整備等の戦略策定（検討会開催等を補助）

【海外の先進事例のイメージ】



多様な娯楽サービスを消費する
旅行客の滞在スタイル



消費を活性化する
街並みの整備

商業・サービス集積の高度化／消費単価向上

外国人観光客の消費単価向上支援（平成27年度補正予算）

- 増大する外国人旅行客の消費単価向上のため、海外先進リゾートでの現地調査を踏まえ、外国人旅行客が好む新たなサービス・街並み創出を行う地域の取組を支援

事業者名	対象エリア	所属市町村	提案事業名
東急不動産株式会社	ニセコヒラフ	北海道倶知安町	『ニセコヒラフエリア』商業機能強化を通じた通常年型リゾート地発展事業
株式会社ライヴ環境計画	阿寒湖温泉	北海道釧路市	自然との共生文化を体感する「観光立国ショーケース」の実現に向けた、欧米豪州の富裕層とアジア富裕層向けの阿寒湖温泉磨き上げ事業
株式会社ＪＴＢ北海道	札幌 狸小路	北海道札幌市	札幌都心部商店街を核としたインバウンド観光イノベーション促進事業
株式会社梵まちづくり研究所	草津温泉	群馬県草津町	「知的探求」サービスを高める草津温泉 – Intelligent Spa Kusatsu – （資源をつなぎ、「新たな草津のたどり方」を開発する。）
株式会社umari	新潟 古町	新潟県新潟市	Peace Kitchen Niigata・食の国際関係地づくりを通じたインバウンドフードツーリズムの確立事業
合資会社ゼンクリエイト	有馬温泉	兵庫県神戸市	自然と歴史・文化の厚みを魅せる 唯一無二の有馬のおもてなしの創造～世界に誇れる温泉地をめざして～